



テラスハウスの線びき

築44年のテラスハウスのリノベーションです。既存建物は、敷地の高低差に合わせてスキップフロアになっています。

1階の居間や水回りは小さく収まっている一方で2階の個室の面積が大きいアンバランスな構成で、全体的に狭さが際立っていた。そこで、アンバランスな狭さを解消するため、2つの「線びき」による構成の再つくりを計画しました。

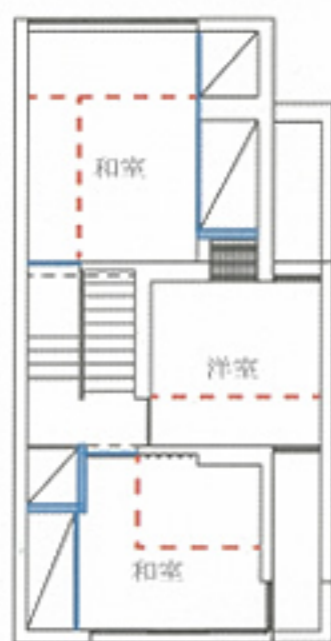
2つの「線びき」による構成の再つくり

1. 線退き 
壁・建具の線を退くことで、繋がりと広がりを持たせる。

2. 線引き 
新たに境界線を引くことで、小さな居場所が増え、アンバランスな空間の狭さを曖昧にぼかす。線引きされた境界に必要な機能を再配置する。境界は壁であったり床の段差であったりする。



リフォーム前平面図1階



リフォーム前平面図2階



既存の間取りについて

住戸中央の階段室と階段室に隣接する空間は建具一枚で仕切られた部屋が連続するばかりで空間の繋がりは感じられない。



F. 旧洋間を線びきしてつくりかわられた浴室と脱衣場



E. 南の窓からみる

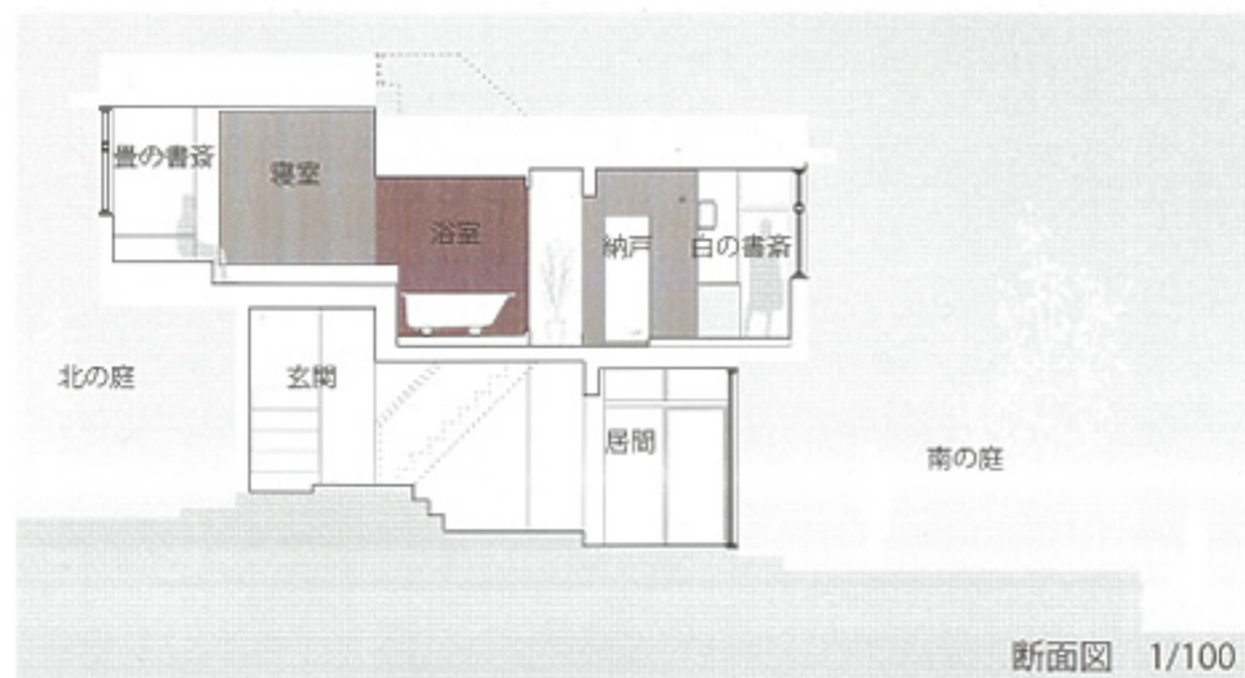
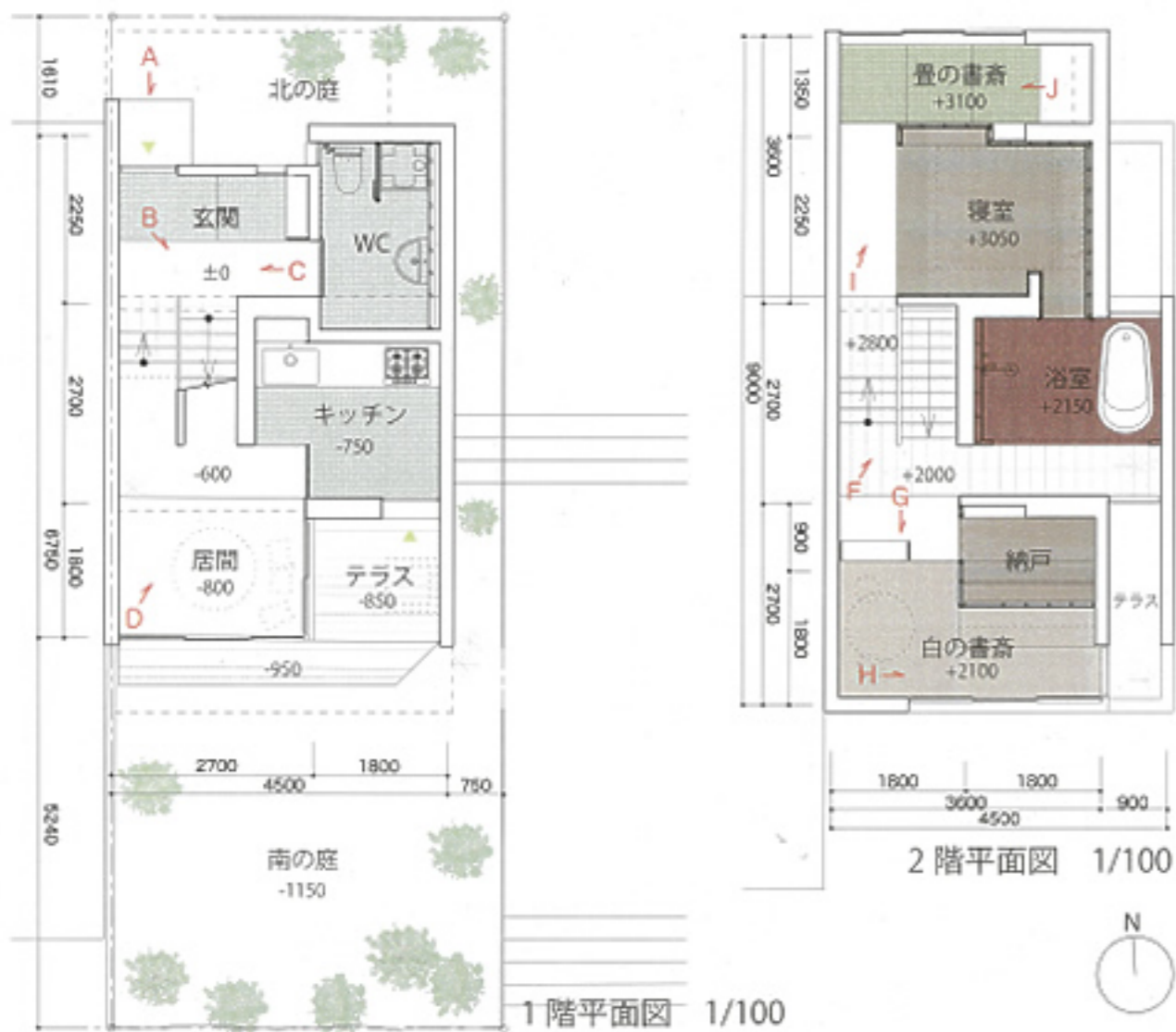
所在地：名古屋市
築年数：築44年
建て方：長屋住宅
構造階数：RC造 地上2階
延床面積：60.75m²(改修面積 55m²)
工事期間：3ヶ月
工事完了：平成29年1月
年月日



A. 玄関から内部をみる



D. 居間から玄関・キッチンの方をみる。床の段差を利用した空間の線びき



素材つくろう 一素材のつぎはぎを試みている。古道具修理のように使い込まれた素材が新参者の素材と混ざり合うー 既存のタイル, 床, 天井, 建具などを至る所に残している。クロスを全て剥がして現れた躯体を、表し・EP塗装・FRP防水(透明)の3種類で覆っている。

